

補助事業番号 ⑬公-4
補助事業名 囲碁による青少年の健全育成補助事業
補助事業者 財団法人 日本棋院

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

今から4000年前に中国で発明され、平安初期に我が国に伝来した囲碁は、その後我が国で1500年の歴史を経て独自の文化として完成され、ここ百年の間に世界各国に逆輸出されて代表的な日本文化の一つとして、世界で広く愛好されている。一部のアジアを除く諸外国では、プロ棋士に指導を受ける機会は殆どないため、大きなイベント開催時には、日本棋院に対し人的支援を要請してきている。伝統的囲碁文化の維持と普及を使命とする日本棋院では、こうした海外諸国の要望に応えることは、単に日本文化の紹介にとどまらず、国際親善の増進に大きく寄与するものであると考えている。

また、第4回小・中学校囲碁団体戦全国大会は、個人戦では得がたい協調性とチームワークの重要性を実戦の中から感じ取ってもらい、未来を担う青少年の健全育成を目指す。

(2) 実施内容

① ア) ヨーロッパ碁コンgresへの棋士派遣 期間 平成19年7月11日～7月26日

オーストリアのフィーラッハで開催された第51回ヨーロッパ碁コンgresに中山典之六段を派遣。ヨーロッパ最大の囲碁イベントにて多面打ち指導碁、大盤解説などをした。

イ) US碁コンgresへの棋士派遣 期間 平成19年7月27日～8月6日

ペンシルベニア州ランチェスターにて開催された第23回US碁コンgresに、鳴沢泰一八段を派遣した。多面打ち指導碁、大盤解説などをした。

② 小・中学校囲碁団体戦 全国大会 期間 平成19年7月29・30日

各都道府県を勝ち抜いた小学生64チーム、中学生64チームの計384名が日本棋院にて熱戦を繰り広げた。東京都新宿区立市谷小学校、浅野中学校(神奈川)が優勝し、文部科学大臣杯を手にした。

2. 予想される事業実施効果

囲碁は手談とも言われ、言葉を越えたコミュニケーションとして昔から親しまれており、言葉・性別・年齢などを超えてお互いの理解を深めることを可能にする。また、近年では子供の情操教育、知育発達における囲碁の効能も注目される中、より多くの方に囲碁に親しむ機会を提供するこの事業は、単に囲碁の普及にとどまらず、未来を担う青少年の健全育成に大きな役割を果たすものと考えられる。

海外への棋士派遣は、囲碁を媒体とした伝統文化による日本文化の紹介でもある。海外でも最大規模のイベントで効果的に日本文化の一端を体験し、また深めることができた。小・中団体戦は、4回目を迎えて、全国のクラブ活動での大きな目標・励みとなり、囲碁普及に役立つであろう。

3. 本事業により作成した印刷物

- ・ 第4回文部科学大臣杯小・中学校囲碁団体戦 全国大会 大会パンフレット

4. 事業内容についての問い合わせ先

団体名	財団法人 日本棋院	(ザイダンホウジン ニホンキイン)
住所	〒102-0076 東京都千代田区五番町7-2	
代表者	理事長 岡部 弘	(オカベ ヒロム)
担当部署	海外室	(カイガイシツ)
担当者	浦田富美子	(ウラタ フミコ)
電話番号	03-3288-8727	
FAX	03-3239-0899	
E-mail	urata@nihonkiin.or.jp	
URL	http://www.nihonkiin.or.jp/	